

専修大学松戸中学高等学校茶華道部

部長 松山 涼

私達専修大学松戸中学高等学校茶華道部は、週に3日間、講師の杉川泉美先生のご指導のもとお稽古に励んでいます。現在部員数は25人で、勉強との両立を大切にして、学校生活を送っています。限られた時間の中で、一人一人のお点前の上達はもちろんのこと、礼儀作法の徹底や、常に相手の気持ちになって考えることなど、人間的に成長出来るようにお稽古の時間を過ごしています。

昨年7月末には不審電での研修に希望者が参加し、大変貴重な経験をさせて頂きました。不審電独自の静かな雰囲気や、置でも涼しさを感じさせる工夫が昔々にこらされていたことがとても印象に残っています。また、お茶とお点前をすることだけではなく、その周りの雰囲気も含めたものであるから、道の入り方や天井などの細かいところまで丁寧に整備をしているというお話をうかがって、お客様にお茶を楽しんでいただくことが非常に大切であり、そのためのお力を貸してはならないということを感じました。その後、9月の文化祭では、参加者の感想や写真を展示し、多くの来校者の方に不審電で学んだことを発表しました。

この経験から、私達はお客様に満足して頂くという目標を立ててお稽古に打ち込むようになり、1月には千葉県高文連茶道専門部会主催の地区文



連茶会に副茶役として参加しました。文化祭終了後から皆一丸となって準備をし、藤岡女子先生にご指導をお願いしたおかげで、時間の回りも含め、今期のお茶会を成功させることができました。松戸市戸定歴史館にある茶室「松雲亭」でのお点前は大変緊張しましたが、お客様として参加した時には違った視点から茶会を楽しむことができました。そこで得た達成感や感動、経験を後輩へと伝えていきたいと思っています。

私達の学校では6月に水鏡月祭という文化祭の活動を発表する場があります。私達も毎年多くの生徒に活動内容を理解してもらうために立札の茶席を設けてお点前を披露しています。今はその発表に向けて、一、二年生共に気合を入れてお稽古に励んでいます。

私達は、部員の多くが高校生になってから茶道を習い始めました。入部当初はただ楽しんでいるだけでしたが、お稽古を重ねるにつれ、お点前に取り掛かる気持ちが随分変わっていきました。そして何より一つ一つの動作に対して深く考え、自分の納得がいくまで何回も練習し、心から茶道が好きになりました。茶道部が活動できるのも、学校の先生方や講師の先生のおかげだということをお忘れずに、これから茶道について多くのことを学んでいきたいと思っています。

